

## 水戸市ごみ処理基本計画（第3次）素案の意見公募手続実施結果

- 1 題名 水戸市ごみ処理基本計画（第3次）（素案）  
 2 素案の公表日 平成26年8月5日から平成26年9月3日まで  
 3 提出された意見数

計 1人 10件

(1) 郵送	0人	0件
(2) F A X	1人	10件
(3) メール	0人	0件
(4) 直接提出	0人	0件

## 4 提出意見及び提出意見を考慮した結果

意見等の概要	市の考え方（対応）
本市の1人1日当たりのごみ排出量を国、県及び特例市と比較すると、いずれも本市は多く、また、リサイクル率はいずれも低い。この現状を市民と行政とが共有することが大事である。このことを計画に明記する必要がある。	本計画27ページにおいて、その状況及びごみ排出量の削減と再資源化が必要であることを示し、28ページにおいて、本計画の目指す姿に、ごみの発生抑制・再使用と再資源化の徹底を掲げております。
減少傾向が顕著である要因として、資源物の軽量化、新聞購読者数の減少等、市民のライフスタイルの変化としているが、集団資源物回収事業の町内会及び子ども会の取組が年々減少・低調となっていることも要因の一つであるので、このことを明記する必要がある（年度別実施団体数、取扱量を資料編に掲載しては）。	<p>本計画26ページの6（2）の課題に表記を追加し、次のとおり修正します。</p> <p>「特に集団資源物回収の減少傾向が顕著で、これは資源物そのものの軽量化や新聞購読者数の減少等、市民のライフスタイルの変化や、参加世帯数の減少などによる、地域における取組の減少が要因として考えられます。」</p> <p>なお、集団資源物回収の年度別実施団体数及び取扱量については、毎年事業概要において最新の状況を明らかにし、公表することとしております。</p>

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>「国と県と比べた本市の状況」には本市と類似する特例市（40市）を追加すると良いと思う。</p>	<p>本計画 27 ページの枠内の表題を「国・県及び特例市と比べた本市の状況」とし、本文を次のとおり修正し、グラフに特例市平均を追加します。</p> <p>「本市の状況は、国・県の状況及び本市と類似する市（以下「特例市」という。）の平均に比べ、1人1日当たりのごみ排出量は多く、リサイクル率は低い状態にあるため、さらなるごみの発生抑制、再使用によるごみ排出量の削減と再資源化を徹底する必要があります。」</p>
<p>1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源物を除く。）について、特例市で見ると、排出量の多さは40市中ワースト4位であることを明記すると本市の状況を市民に理解していただけたと思う。</p>	<p>上記において国・県の状況及び特例市の平均に比べ1人1日当たりのごみ排出量が多い状態であることを明記した上で、その詳細については本計画の資料編4の1～3において、特例市40市中の順位を明記します。</p>
<p>リサイクル率について、特例市の平均21%に対し本市は17.2%で、特例市40市中29位でリサイクル率が低い実態であることを明記すると良いと思う。</p>	<p>上記において国・県の状況及び特例市の平均に比べリサイクル率が低い状態であることを明記した上で、その詳細については本計画の資料編4の4において、特例市40市中29位である旨を明記します。</p>
<p>第2章の2「排出量が高い」は「排出量が多い」という表現の方が適切と思う。</p>	<p>本計画のうち該当箇所（計画書 27 ページ、資料編資7～資9ページ）について修正するものとします。</p>
<p>減量化など先進特例市の取組を調査して計画策定に生かしては如何か。</p>	<p>本計画第4章の施策において、ごみの減量化及び再資源化を進める施策を実施することとしており、施策を進める中で、先進事例を調査しながら、ごみの減量化及び再資源化を図ります。</p>

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>これまでの本市における取組をみると減量化など市民・事業者に対する啓発活動が不十分であったと思う。</p> <p>具体的には、</p> <p>①啓発資料を全戸に配布（A 4 で 1 枚・隔月か四半期に 1 回 継続性のある広報活動が必要）</p> <p>②ホームページの内容充実</p> <p>③学校教育での啓発実践</p> <p>など啓発活動に取り組むことを切望する。</p>	<p>本計画においては、環境教育の推進及び情報提供の拡充に係る取組を重点的な取組として位置付けており、これらの取組について積極的に取り組んでまいります。</p>
<p>本計画の中で「ごみ処理事業経費」の現状を公表してはどうか。</p> <p>平成 18 年に策定した「水戸市新ごみ処理基本計画」には掲載されており参考になった。</p>	<p>本計画においては、ごみ処理事業経費の現状について、その実績を資料編 6 ページの（参考）表 3 - 1 にごみ処理経費としてまとめています。</p> <p>なお、本市のごみ処理事業経費については、事業概要において毎年度明らかにしております。</p>
<p>市民にとってごみの問題は市政の中で最も身近なテーマで市民の行動如何によって行財政改革に大きく寄与すると思う。</p>	<p>今後も本計画に位置付ける施策を進めることにより、行財政改革に寄与してまいります。</p>